

実体顕微鏡

快適な使用方法

長い鏡筒でオペレーターの背中への傾きを軽減

チルト機能付き鏡筒で首の傾きを20°未満に軽減

首の角度は20°未満に

可変式アイポイントアジャスターを使い、オペレーターの身長に適した場所に接眼レンズを配置

背中丸めず真っすぐに

調整ノブに手が楽に届く

椅子を調節して膝は直角で床に足が着くように

腕の角度が90°~120°になるよう架台の高さを調節